

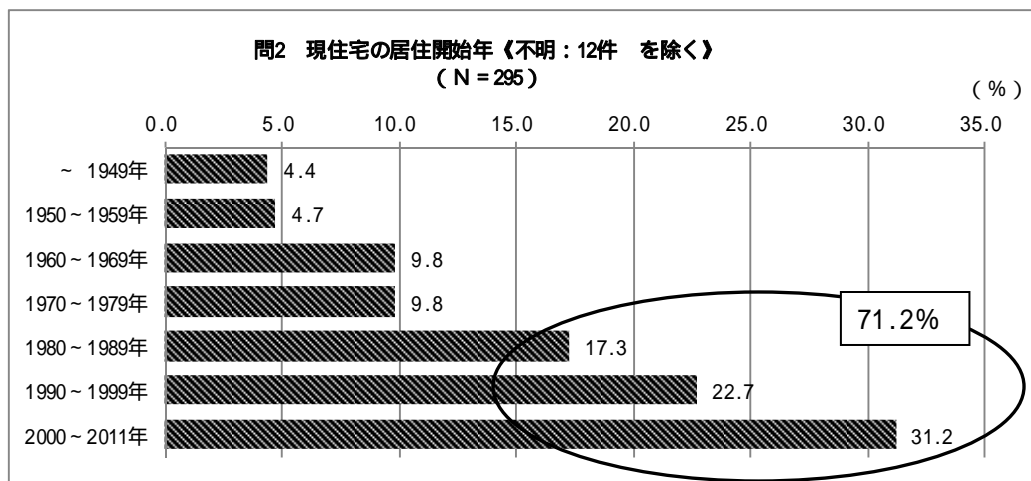
東大阪市住工共生まちづくりに向けたアンケート調査 結果概要（グラフ）

—市民向け—

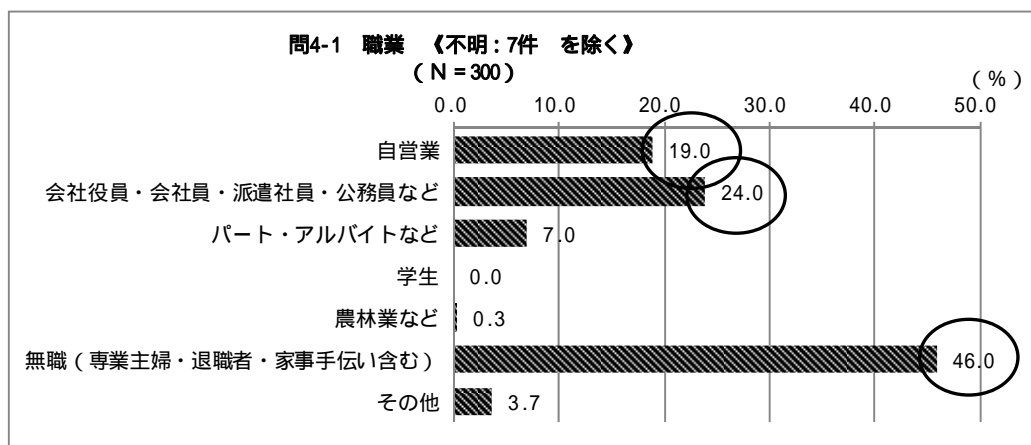
1. 単純集計

1-1 回答者の属性

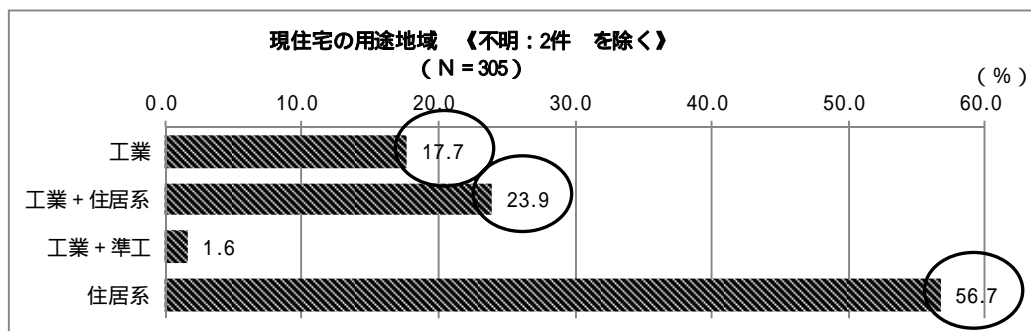
現住所の居住開始年



職業

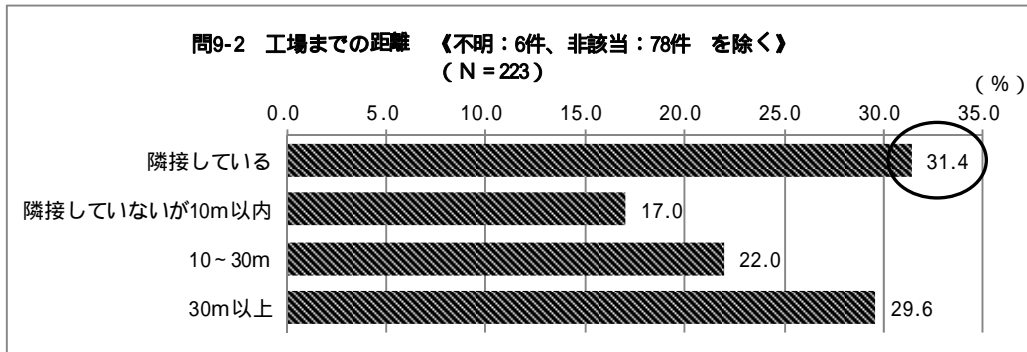
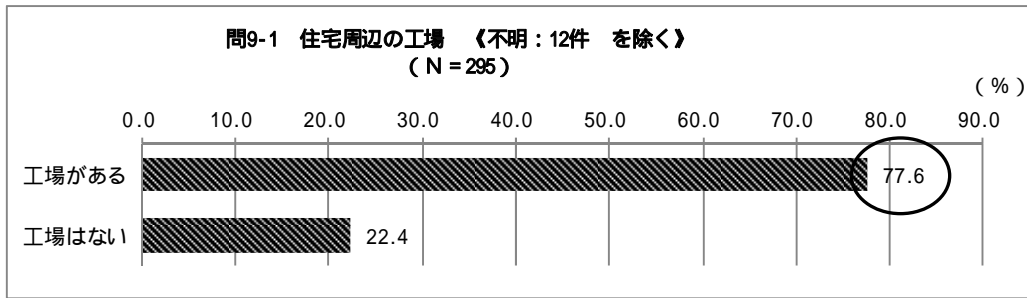


現住宅の用途地域（実際の用途地域：町丁より分類）

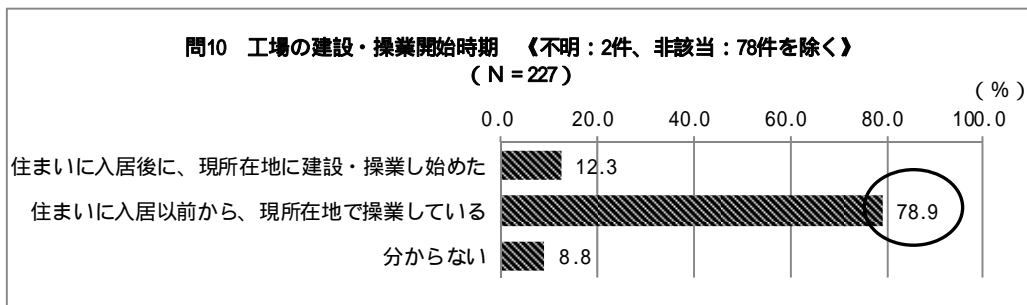


1-2 住まいの周辺環境

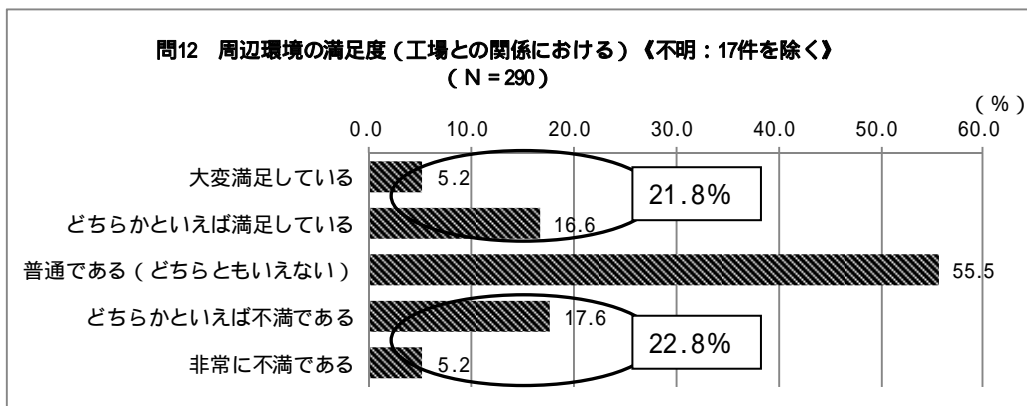
住宅周辺の工場の有無、工場までの距離



工場の建設・操業開始時期

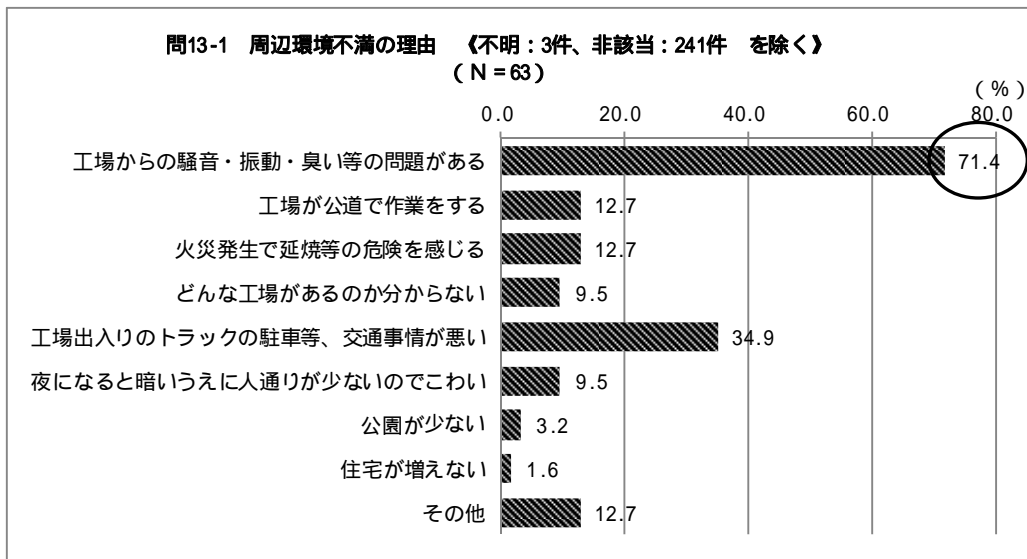


周辺環境の満足度

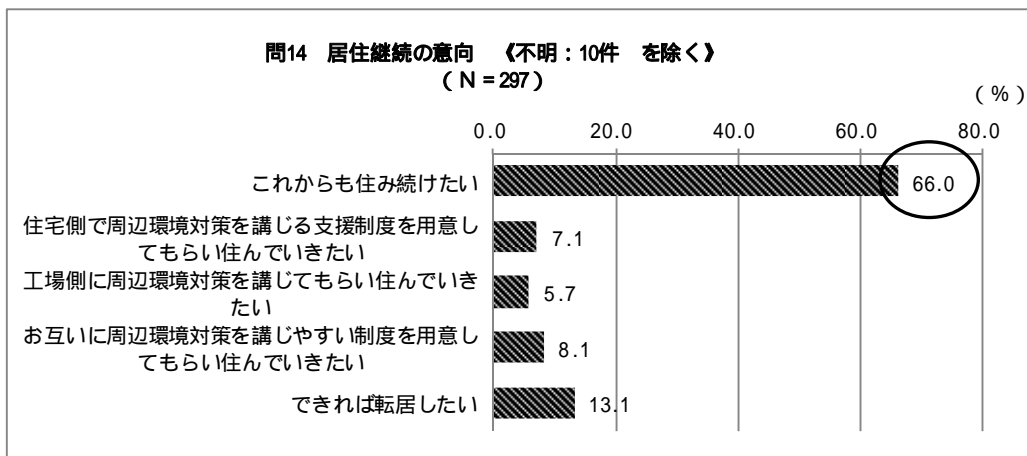


1-2 住まいの周辺環境【続き】

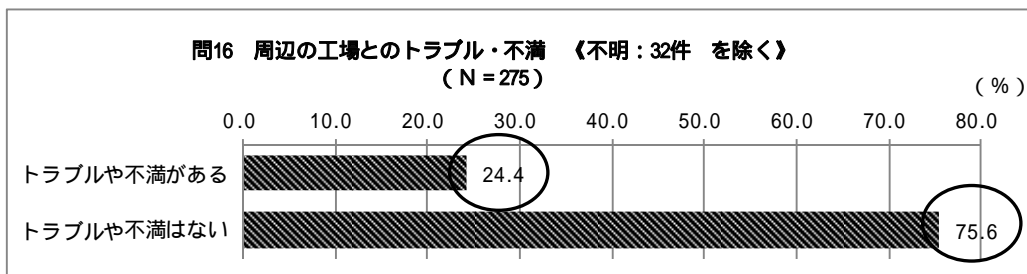
周辺環境不満の理由



居住継続の意向

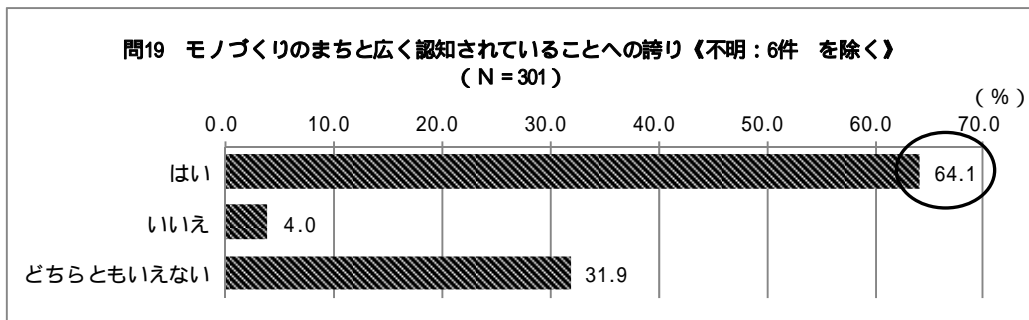


周辺の工場とのトラブル・不満

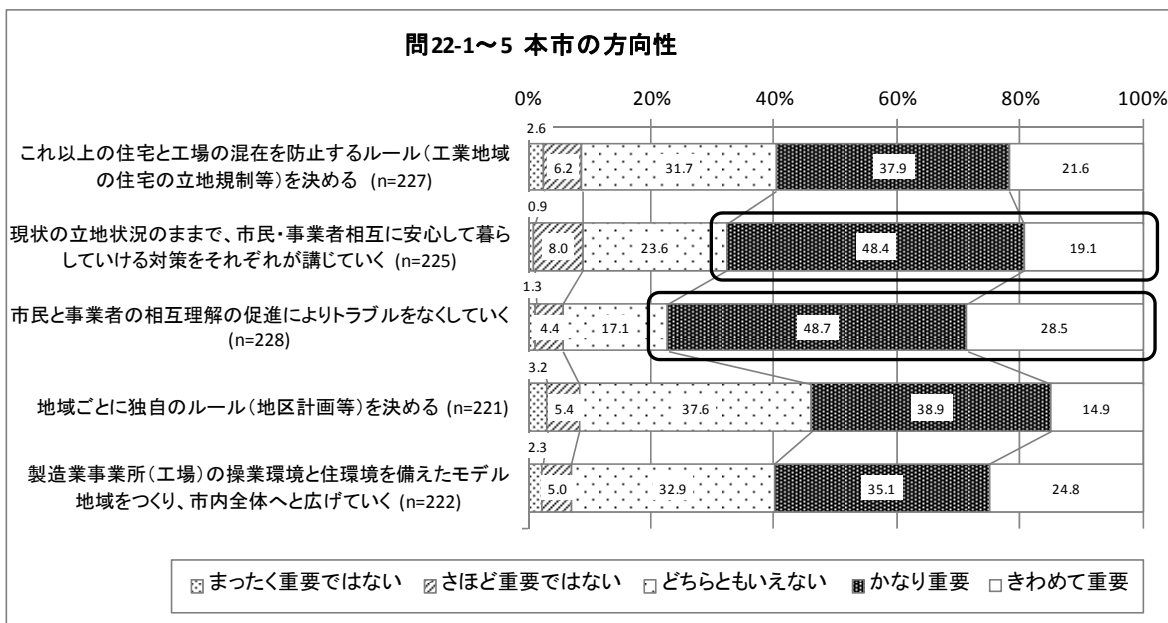


1-3 住工共生まちづくり

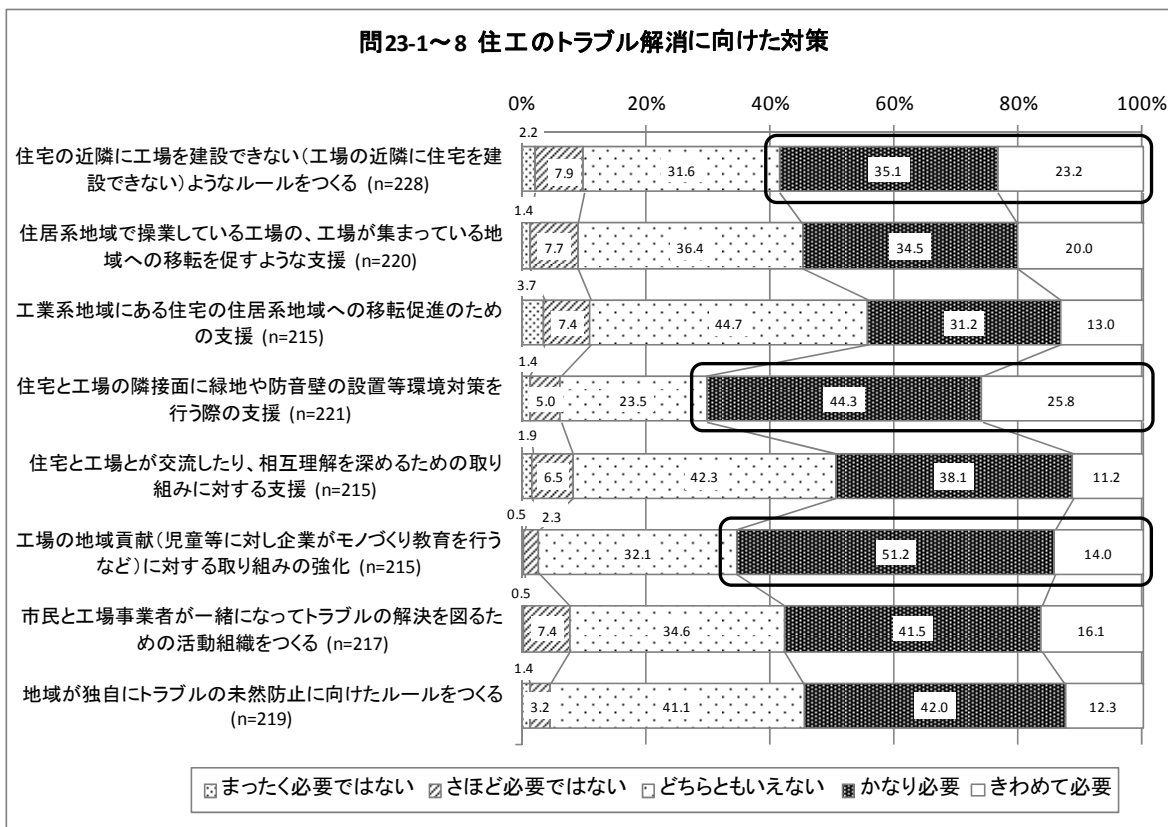
モノづくりのまちと認知されていることへの誇り



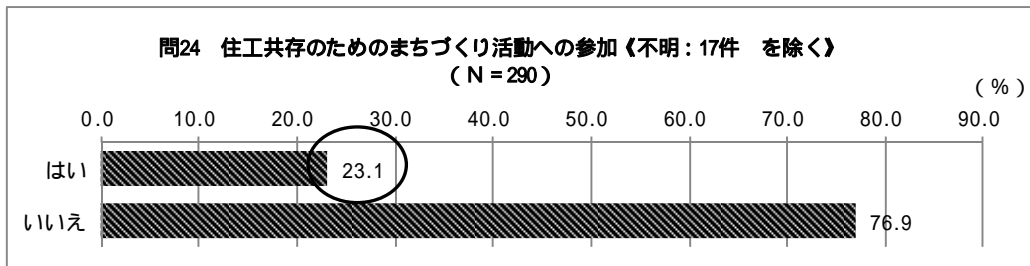
本市の方向性



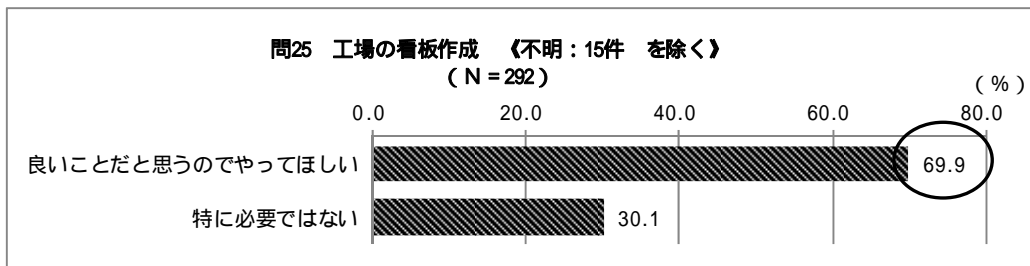
住工のトラブル解消に向けた対策



住工共存のためのまちづくり活動への参加意向



工場の看板作成

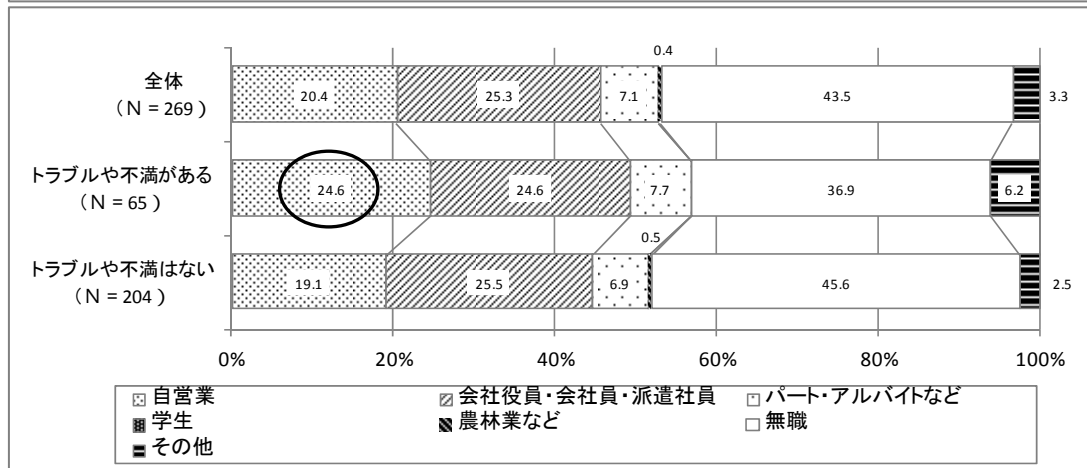
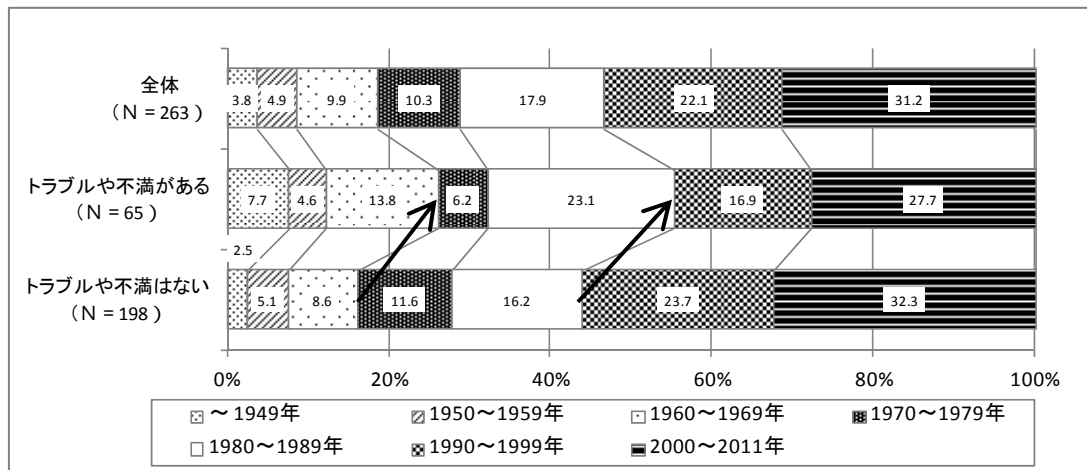


2. クロス集計

2-1 「住まい周辺の工場とのトラブル・不満」によるクロス集計

(1) 「トラブル・不満がある」と回答した回答者の属性(「トラブル・不満がない」との比較)

居住開始年、職業

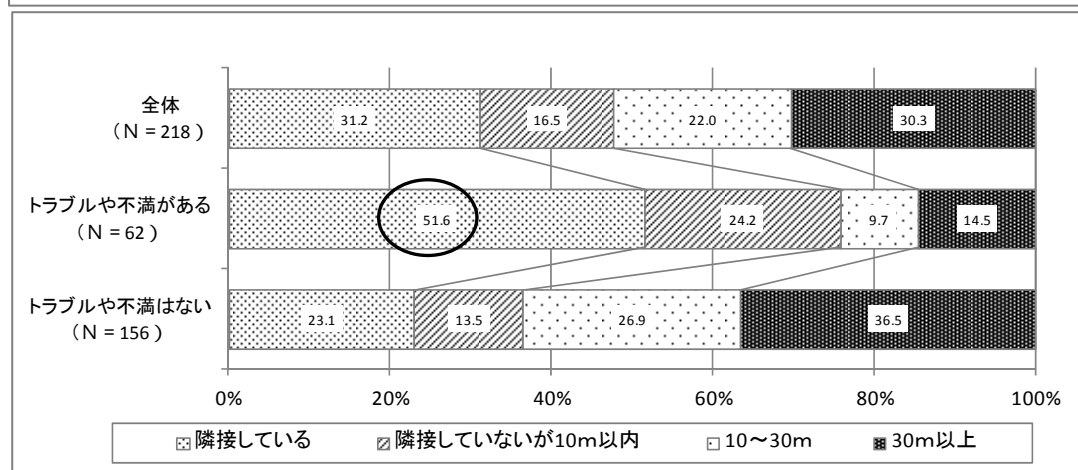
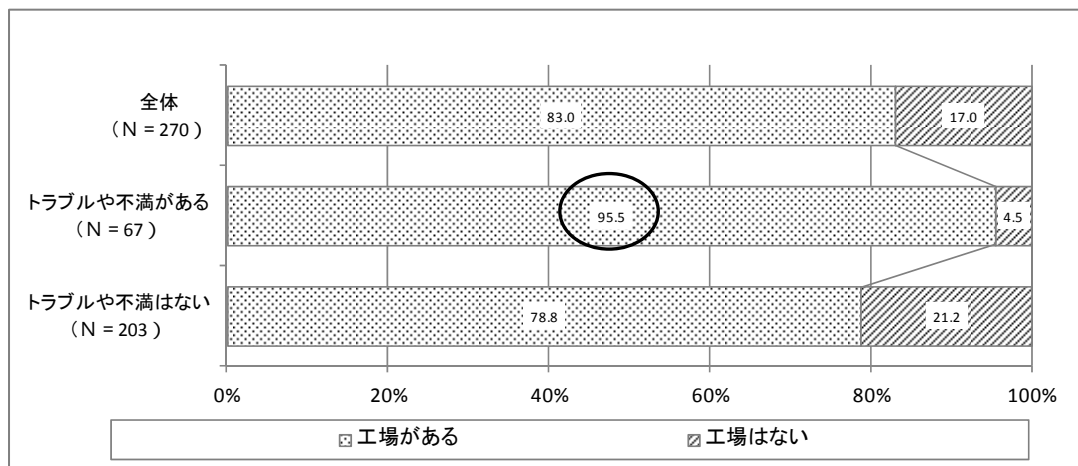


2-1 「住まい周辺の工場とのトラブル・不満」によるクロス集計【続き】

(1) 「トラブル・不満がある」と回答した回答者の属性(「トラブル・不満がない」との比較)

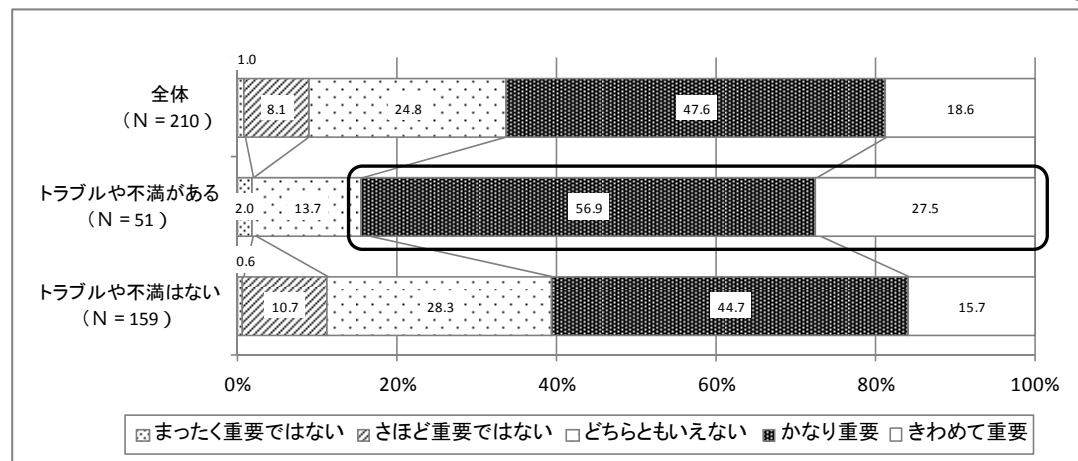
【続き】

住宅周辺の工場の有無、工場までの距離



(2) 本市の方向性(「トラブル・不満がある」グループで「かなり重要」「きわめて重要」の合計が高い項目)

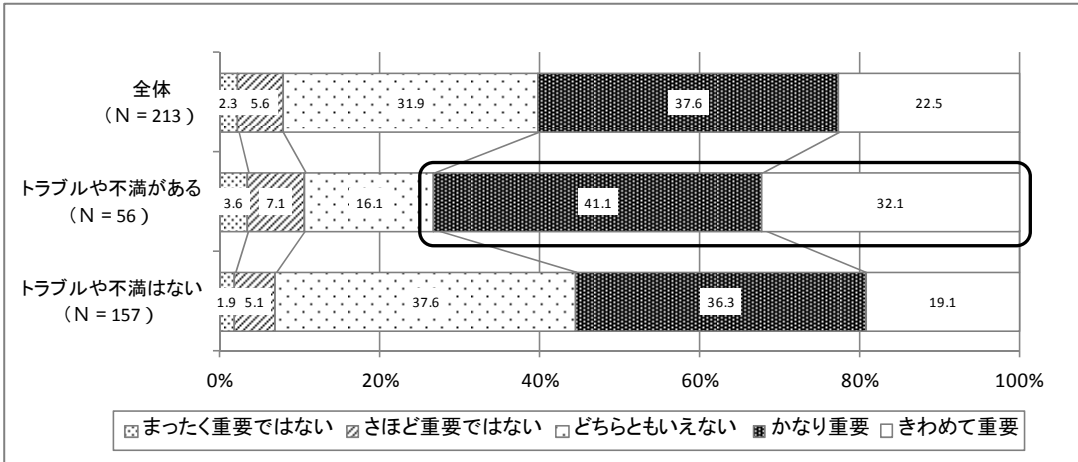
「現状の立地状況のまま、市民・事業者相互に安心して暮らしていける対策(84.4%)」



2-1 「住まい周辺の工場とのトラブル・不満」によるクロス集計【続き】

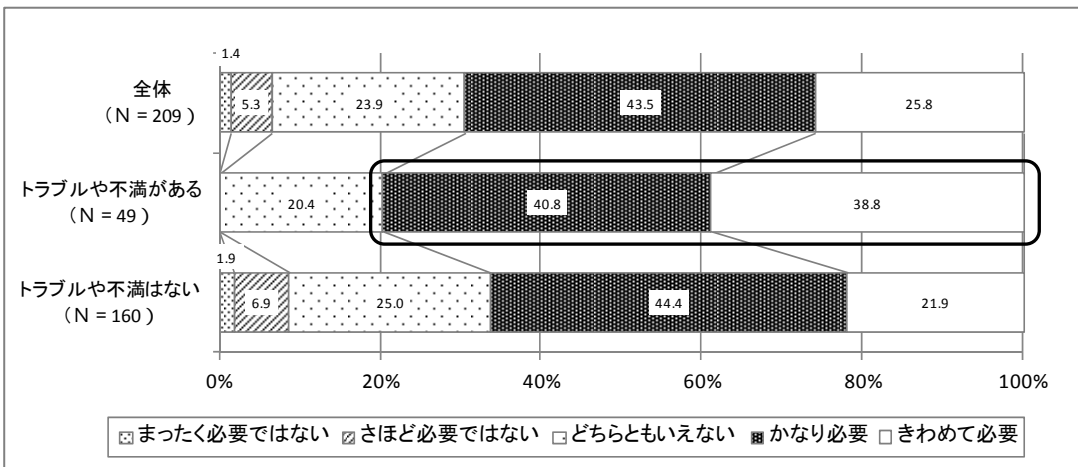
(2) 「トラブル・不満がある」と回答した回答者の属性(「トラブル・不満がない」との比較)
【続き】

これ以上の住宅と工場の混在を防止するルールを決める(73.2%)」

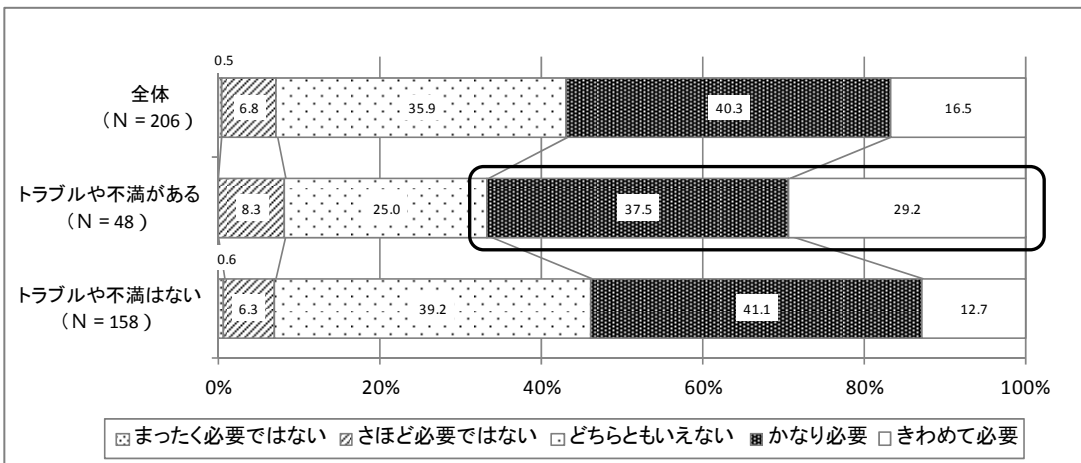


(3) トラブル解消に向けた対策(「トラブル・不満がある」グループで「かなり必要」「きわめて必要」の合計が高い項目)

「住宅と工場の隣接面に緑地や防音壁の設置等環境対策を行う際の支援(79.6%)」



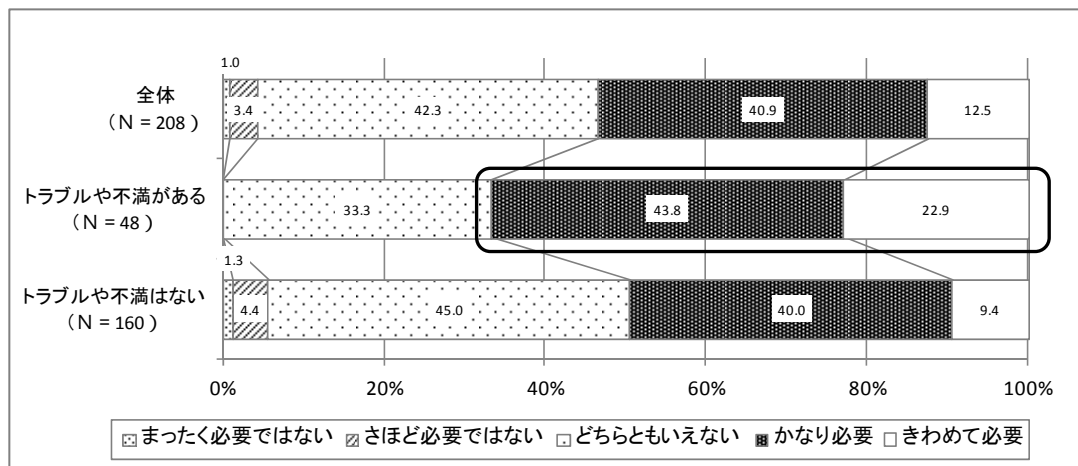
「市民と工場事業者が一緒になってトラブルの解決を図るための活動組織をつくる(66.7%)」



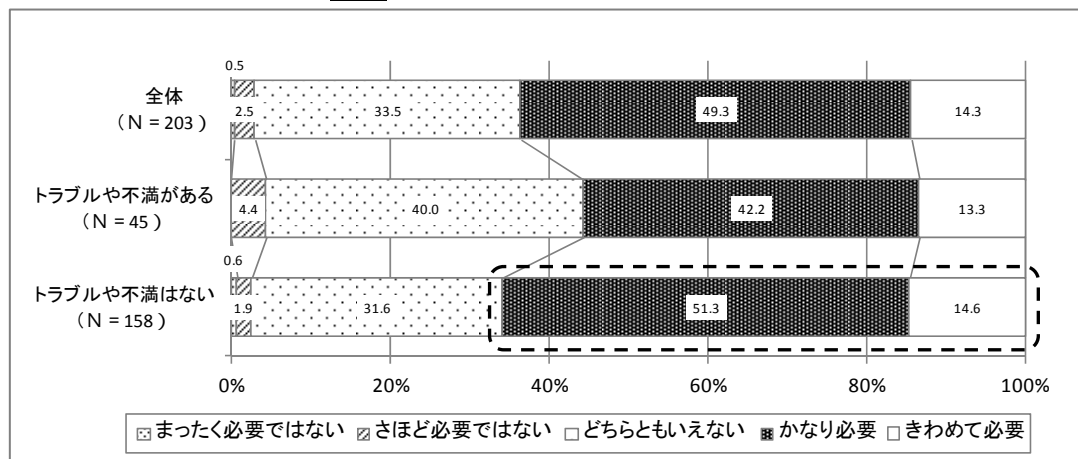
2-1 「住まい周辺の工場とのトラブル・不満」によるクロス集計【続き】

(3) トラブル解消に向けた対策(「トラブル・不満がある」グループで「かなり必要」「きわめて必要」の合計が高い項目)【続き】

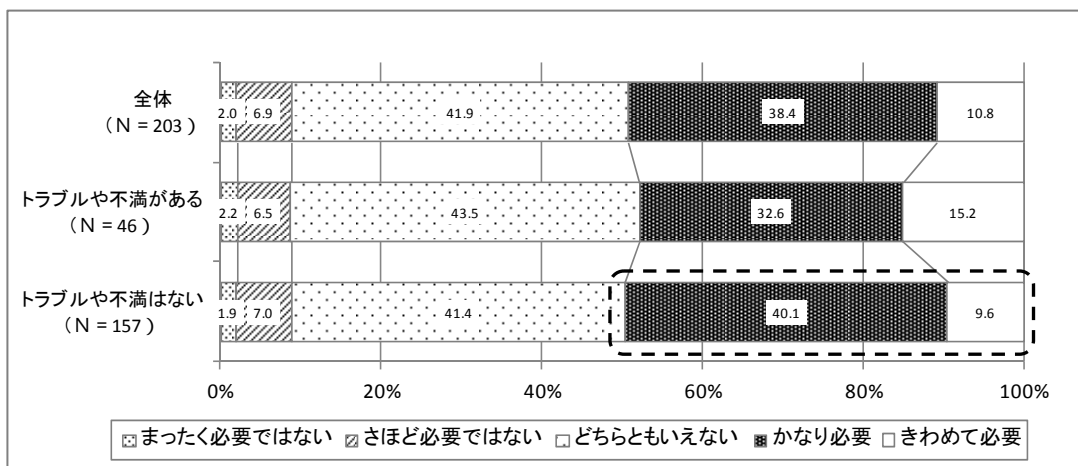
「地域が独自にトラブルの未然防止に向けたルールをつくる(66.7%)」



「トラブル・不満はない」グループ:「工場の地域貢献に対する取り組みの強化(65.9%)」



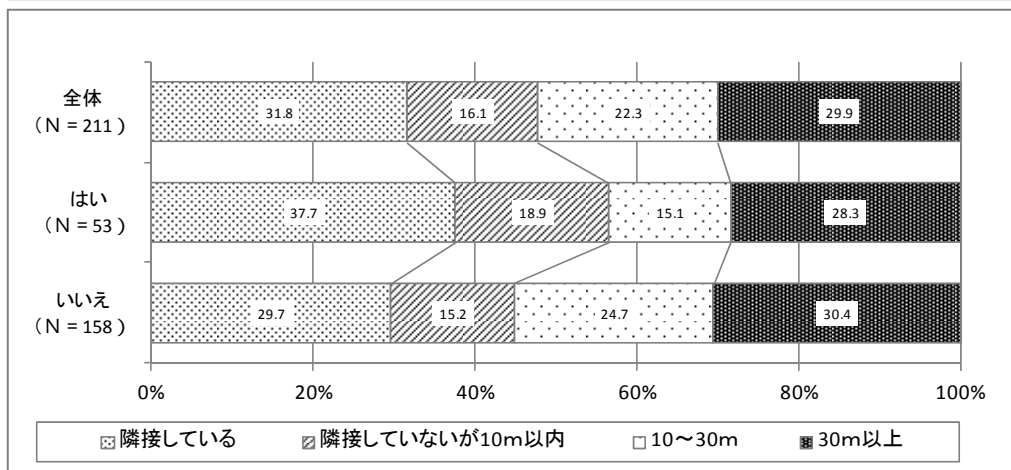
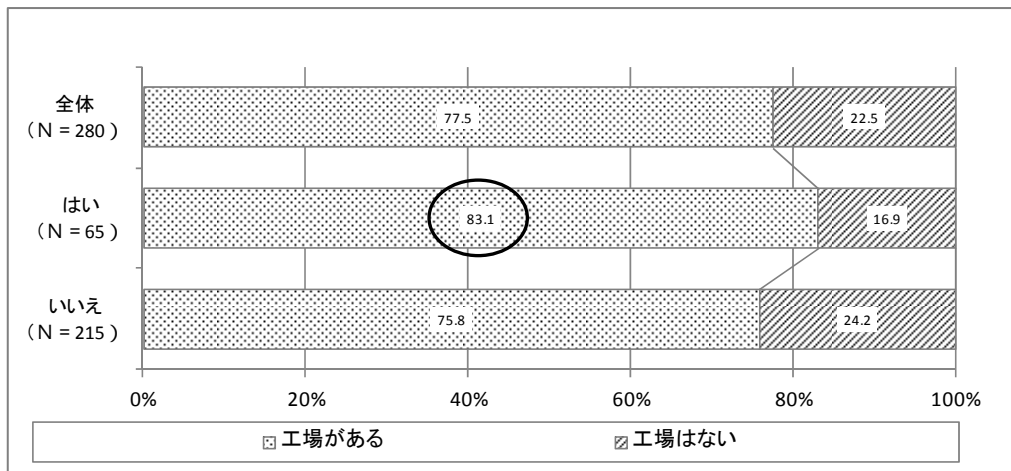
「トラブル不満はない」グループ:「住宅と工場とが交流したり、相互理解を深めるための取り組みに対する支援(49.7%)」



2-2 「住工共存のためのまちづくり活動への参加」によるクロス集計

(1) 「はい(参加してもいい)」と回答した回答者の属性

住宅周辺の工場の有無、工場までの距離



2-3 「看板作成についての考え」によるクロス集計

(1) 「良いことだと思うのでやってほしい」と回答した回答者の属性

住宅周辺の工場までの距離

